



自然の力を大事にする活動を通して、見えてきたもの

平成30年11月10日

全Aネット 熊本フォーラム シンポジウム 資料

合同会社ソルファコミュニティ

就労継続支援A型 TEAM VILLAGE 代表 玉城 卓



ソルファコミュニティ代表 玉城 卓(たまき すぐる)

昭和59年4月1日生まれ 沖縄県宜野湾市出身

高校卒業後は、福岡の福祉大学へ。

はじめは、高齢者介護の仕事に勤め、高齢者デイサービスの介護職、生活相談員、管理者等を経験する。

その後障害福祉の仕事に就いた際、農業と福祉の親和性に気づくことになる。

立ち上げまでに、四つの職場を転々とし、28歳の12月に

「合同会社ソルファコミュニティ」を設立。翌3月に「TEAM VILLAGE」を開所する。

- ・ 就労継続支援A型事業所全国協議会 沖縄窓口事業所
- ・ 農福連携自然栽培パーティー チーム沖縄ブロックリーダー
- ・ 北中城村農業委員会 会長
- ・ 北中城村農地バンク 副頭取
- ・ 県内A型ネットワーク 主宰
- ・ 県内農福連携マルシェ 主宰





TEAM VILLAGE

TEAM VILLAGE (チーム ヴィレッジ)
就労継続支援A型事業

平成25年3月1日開所

定員20名 (現在18名)

作業内容

- ・ 無農薬、無肥料の自然栽培での農業
 - ・ 農作物の加工
 - ・ 農作物直売所の運営
 - ・ 農作物の仕入れ販売
 - ・ 農業コンサルタント業務
 - ・ 農業に関する企業との連携
 - ・ 草刈り請け負い等
- 「農」に関わる仕事を行います。





ソルファコミュニティ TEAM VILLAGEが 大事にしている事

1. とにかく「**楽しく**」仕事をするこ
と。

2. 専門性のない「**専門性**」。



3. 現状より、「**一歩**」前にでよう。



「農業」と「福祉」の最高のマッチング 「農福連携」とは!?

「農業」は基本的に一人の仕事。今以上のことをしたい、と思っても、常に人手不足に困っている。

「福祉」は人手はたくさんあるが、仕事を求めている。

人手の欲しい「農業」と、仕事が欲しい「福祉」を掛け合わせ、双方の弱みを強みに変えた。

それが「農福連携」です。



ソルファコミュニティ TEAM VILLAGE が考える「農福連携」とは!?

「農業」も「福祉」も
どちらも主体となって活動を行い
「農業」が持つ力を最大限に「福祉」に活かし
「福祉」が持つ力を最大限に「農業」へ活かし
またその力を地域の中で、地域活性化や課題解決等
そこになくってはならない活動、場所、人を育てること。



TEAM VILLAGEが考える 「農福連携」の素晴らしいところ。

1. 気持ち晴れ、明るくなる。
2. 農作業は細分化できる。
3. 地域の課題を解決することができ
4. 自然栽培で農業をやる価値。
5. 様々な連携を産む。



自然栽培の仲間たち

自然栽培の仲間たち

AEON イオン琉球株式会社



NPO 沖縄の自然栽培野菜を
給食にするプロジェクト



コープおきなわ



沖縄薬草ワールド
ハッピーモア市場



きた なか ぐすく
北中城村
Kitanakagusuku Village

全Aネッ
ト

沖縄県商工労働部 OKINAWA CRAFTS PROMOTION CENTER

沖縄県工芸振興センター

一步前に出ること
でドンドン繋
がりが増えてき
た！



Decent Work Labo

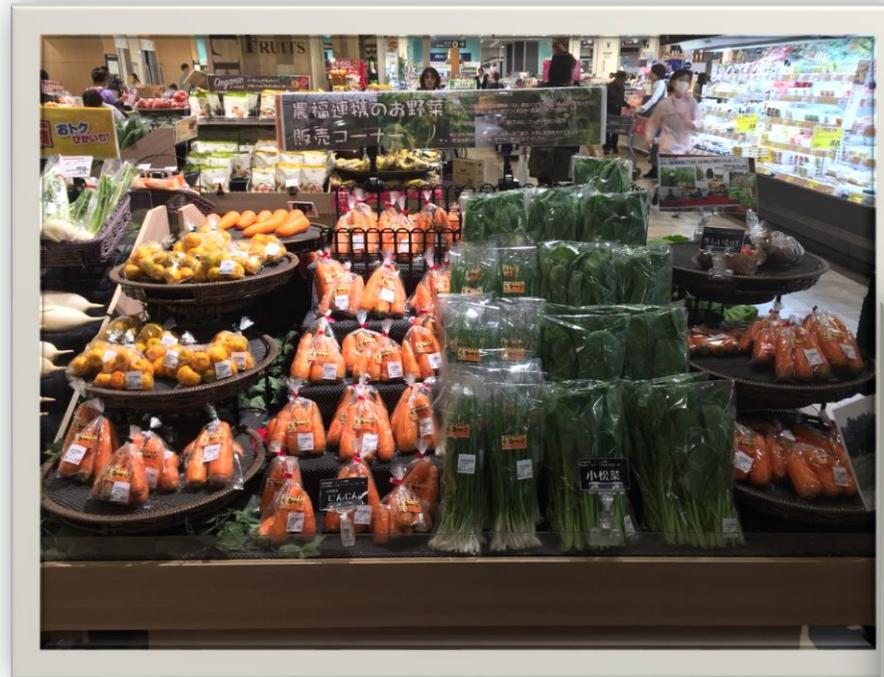
沖Aネッ
ト



1. 販売店との連携

・ 県内農産物販売所でのコーナー販売。

↓ イオンモールライカム農産物売り場内



↓ 宜野湾市
ハッピーモア市場



※農福連携をキーワードとして、県内外の福祉施設の農産物を仕入れ販売。

2. 農家との連携



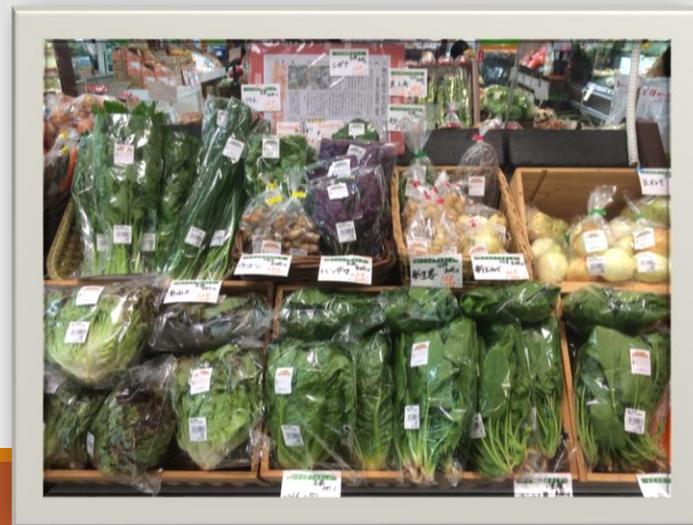
NPO 沖縄の自然栽培野菜を
給食にするプロジェクト

 **コープおきなわ**

県内コープ2店舗にて
農家とのNPOとして特
設コーナーにて販売

農作物の販売や買取な
ど共働で販売を行って
いる

勉強会などに
農家さんに積極的に
参画して頂いている



3. 福祉との連携



自然栽培パーティ
として全国の農福連
携福祉施設等と連携

沖縄独自の連携
として、沖縄農福ラ
ボの
設立予定

年に一回は全国フォーラムも開催し、農福連携の
成果発表の場、広く周知する活動も行っている。
沖縄県での活動としても、農福連携事業所と沖縄
マルシェを開催等、連携強化を図っている。



4. 行政・地域・企業との連携



県、村、イオン
に
協力して頂き
農福連携マル
シェの開催

依頼や協力とし
て
企業や民間の畑
での作業

観光協会から
販売先を紹介

商工会会員とし
て
物産展などへの
参加





5. 教育との連携



グッジョブ運動と連携して、村内小中学校の職場体験、学校での講話

県内中学校、高校などでの講話

東京農大からの実習生受け入れ
※ 3週間



6. スポーツとの連携



サッカークラブ「沖縄sv」と連携して、選手のセカンドキャリア育成のため、共働で農業事業を実施。





サッカーチーム 沖縄svとの連
携



サッカーチーム 沖縄svとの連

権

農

福祉

行政

教育

企業

地域

スポーツ



どんどん広がる 農福連携のフィールドと可能性

- ・ 農業が抱える課題。耕作放棄地の増加、担い手不足の現状。
- ・ 企業の「法定雇用率」、CSR、CSV。
- ・ 2020オリンピック、パラリンピックへの食材提供。
- ・ 食の安全への関心の高まり。
- ・ ・ ・ *and more* ・ ・ ・

「農福連携」は、他職種間との連携がとりやすい。
農業に真剣に取り組むことで、福祉の活躍の場が生み出され